

アカバネ病に注意！！

～東北地方（岩手県及び宮城県）で抗体陽転～

- ・全国的に行われているアカバネ病の抗体検査において、本年8月中～下旬の間に東北地方（岩手県及び宮城県）で抗体の陽転が確認されたとの報告がありました。
- ・通常、発生が見られない東北地方で確認されたということは、国内の広い範囲で感染があった可能性を示しています。
- ・ワクチン接種などで予防していない農場・地域では、今冬以降、流死産や奇形などが多発するおそれがあります。

アカバネ病とは

- ・アカバネウイルスによる伝染病で、牛、めん羊などに病原性を示します。
- ・妊娠動物に感染すると流産、早産、死産をおこし、四肢関節の湾曲などの体形異常や水無脳症などの神経症状を伴う奇形が見られます。
- ・ウイルスは初夏から晩秋にかけて、主に蚊（ウシヌカカ）などが媒介します。

感染や流行を防ぐためには

- 1 ワクチンの接種を徹底しましょう！
例年、ワクチン接種は徹底されていますが、この機に、念のため接種の確認を！
- 2 ウイルスを運ぶ蚊など媒介昆虫の発生防除を徹底しましょう！
- 3 奇形や神経症状などを呈す「異常産」が発生したら、担当の獣医師または家畜保健衛生所までご連絡願います！



飛騨家畜保健衛生所
高山市上岡本町7-468

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

